

# 千秀だより

横浜市立千秀小学校 令和2年(2020)4月7日

## 4月号



URL : [www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/](http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/)

学校教育目標『自分で考え 表現し 挑戦し続ける子』

## 希望

校長 富田 操

正門の桜の花が見事に満開となる中、新入生27名を迎え、全校児童234名で喜びと希望に満ちた令和2年度がスタートしました。

今年度も、子どもたちの一層の成長を目指し、教職員一丸となって千秀小学校の教育に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

昨年度、3月修了式の日、全校児童が久しぶりに学校に集まりました。

「学校は子どものためにある」という当たり前のことを、学校全体に子どもがあふれている姿を見て改めて感じました。学校に子どもがいるという当たり前のことが当たり前でなくなってしまっている現在の状況は受け入れ難いところではありますが、この現実に向けて、子どもや保護者の皆様、地域の皆様へ確実に正確な情報をお届けすること、そして、少しでも子どもたちが安心して希望をもって過ごせることを目指し、学校は、しっかりと対応していかねばならないと決意を新たにしました。

昨年度の最後の学校だよりでは、「立ち向かう」というタイトルで巻頭言を書きました。一ヶ月後の今日もまた同じ「立ち向かう」気持ちをもたなければならない現実は厳しいですが、これからも、学校・家庭・地域が手を取り合って、この大きな難局に立ち向かいたいと思います。どうぞ、なお一層のご理解とご支援とご協力を心からお願いいたします。

とは言え、学校の正門には素晴らしい桜が咲き、春の訪れを感じます。そして、学校は新学年を迎えました。大人の私たちもそうですが、新年度というのは、新たな気持ちになり、今までのことを一旦リセットすることができる大きなチャンスでもあります。

そうすることで、人は自分の生活に楔を打ち込むように、区切りをつけていくことができるのだと思います。

ましてや、新しい可能性に常に満ち溢れている子どもたちには、この新年度という時期を十分に活かして、今まで上手くいかなかったことや課題を乗り越えていくようリセットすることに挑んでほしいと願ひます。

本校の学校教育目標『自分で考え 表現し 挑戦し続ける子』にあるように、この時期の新鮮な気持ちを原動力に、新しい自分へと、まさに『挑戦』してほしいのです。

そして、その気持ちを私たち教職員は正面から真剣に受けとめ、支えてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様にも、ぜひ、その子どもの気持ちを受け止めていただき子どもたちを今まで同様、支えていただければと思います。

このような状況ではありますが、いや、このような状況であるからこそ、子どもたちは私たちの社会にとって、「宝であり、希望である」と実感いたします。学校・家庭・地域一体となり、千秀小の子どもたちを、さらに素晴らしい子どもたちになるよう育てていきたいと思います。今年度もよろしくお願ひいたします。